

第1表 薬事監視（平成30年度）

事項 業種		許可・届出施設数	立入検査施行施設数	違反発見施設数	違反発見件数												
					無許可無届業	無承認品	不良品	不正表示品	虚偽・誇大広告等	毒劇薬の譲渡等	毒劇薬の貯蔵陳列	処方箋医薬品の譲渡等	制限品目の販売	構造設備の不備	製造販売後安全管理不備	品質管理不備	その他
体外診断用薬品	製造業																
	製造販売業																
再生医療等品	業務上取扱う施設																
	製造業																
	製造販売業																
	販売業	11															
業務上取扱う施設																	
計		5713	1337	90	2	1	0	0	6	0	1	0	0	18	0	3	124

(2) 医薬品等の収去検査状況

厚生労働省からの指定品目について、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の規定に基づく収去を行った。結果は第2表のとおりである。

第2表 収去検査結果（平成30年度）

検査所 種類	国立医薬品食品衛生研究所			奈良県薬事研究センター		
	収去品目	検体数 (項目数)	不適数	収去品目	検体数 (項目数)	不適数
医薬品	国指定品目	1 (1)	0	県指定品目	4 (1)	0
化粧品	国指定品目	0	—	—	—	—

(3) 無承認無許可医薬品等検査状況

厚生労働省からの指定品目について、買上調査を実施した。検査機関において有害成分等の検査を行った結果は、第3表のとおりである。

第3表 買上調査結果（平成30年度）

対象製品群	検査項目	検体数	不適数	検査機関
強壯用健康食品	シルデナフィル等他 (国買上)	3	0	国立医薬品食品衛生研究所

7. 毒物劇物監視

(1) 監視状況

毒物及び劇物取締法に基づき毒物劇物の製造業、輸入業及び販売業等に対して立入検査等を行った結果は、表のとおりである。

表 毒物劇物監視（平成30年度）

業 種		登録・届出・許可施設数	立入検査実施施設数	違反発見施設数	毒物劇物又は政令で定める毒物劇物含有物の疑いのあつたものの除去	試験の結果毒物劇物又は政令で定める毒物劇物含有物であつたもの	無登録・無届・無許可施設発見数
製造業	大臣登録分						
	知事登録分	12	1	1			1
輸入業	大臣登録分						
	知事登録分	2					
一般販売業		270	35	3			2
農薬用品目販売業		91	6				
特定品目販売業		6					
電気めっき事業		6					
金属熱処理事業							
毒物劇物運送事業		1					
しろあり防除事業							
法第22条第5項の者							
計		388	42	4	0	0	3
特定毒物研究者		15					

(2) 毒物及び劇物の盗難・紛失事件及び流出・漏洩事故情報

毒物及び劇物の事件・事故発生情報は、「毒物及び劇物の盗難・紛失事件及び流出・漏洩事故情報の収集について（平成15年1月22日医薬化発第0122001号）」により、今後の毒物及び劇物の事件・事故対策に資するための事件・事故情報の共有化について示されている。

近年県内で発生を確認した状況は、以下のとおりである。

番号	毒物劇物の別と名称等	事件の概要	発生日と事業所等の業態	原因(推定含む)	被害状況
1	劇物 クレゾール 50%	倉庫保管のクレゾール石鹼液ビン(500ml 1本)に荷物が落下してひびが入り、少量漏洩	H15.3.11 業務上取扱者	倉庫での保管不備	なし
2	毒物 硝酸 14.2% フッ酸 4.8%	トラックで運送中、ドラム缶が破裂し、中の液体が半径10mの範囲に飛散	H15.4.18 業務上取扱者	法第16条の運搬基準違反	・ドラム缶が近くの乗用車(無人)の後部を破損 ・付近の人が火傷により軽傷
3	劇物 臭化メチル	倉庫に保管していた臭化メチル製剤の盗難	H19.10.3 業務上取扱者	倉庫での保管不備	なし
4	劇物 水酸化ナトリウム 50%	水酸化ナトリウム製剤製造中に発火し、炎上。消防車からの放水が工場内ピットからあふれ、劇物を含んだ水が一部水路に流出。	H20.7.24 毒物劇物製造業	作業時の安全管理不備	なし

8. 麻 薬

(1) 麻薬及び向精神薬・覚せい剤 立入検査状況

区分	対象事業所数	麻薬取締員延べ立入回数	違反事業者数	違反内容																	処置				
				譲渡・譲受	処方箋の交付	不正所持	廃棄	譲渡証・譲受証	管理簿	帳簿	施用に関する記録	その他	届出事	出報	中告	保存			計	始末書・誓約書	その他	計			
																譲渡証・譲受証	帳簿	施用の記録							
覚せい剤・覚せい剤原料	覚せい剤施用機関	0	0																						
	覚せい剤研究者	5	0																						
	覚せい剤原料取扱者	48	34																						
	覚せい剤原料研究者	50	0																						
	薬局	545	302																						
	病院・一般診療所	1,284	30					1															1	1	
	飼育動物診療施設	136	2																						
	合 計	2,068	368	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
麻薬関係	家庭麻薬製造業者	16	2																						
	麻薬卸売業者	12	36																						
	麻薬小売業者	483	316	3	1					1				1									3	3	
	診療施設	病院	75	57	1									1										1	1
		一般診療所	420	15	1			1																1	1
		歯科診療所	0	0																					
		飼育動物診療施設	79	3																					
		計	574	75	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	麻薬研究者	68	10	2			2																2	2	
	大麻栽培者	0	0																						
	大麻研究者	4	0																						
合 計	1,157	439	7	1	0	3	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	
向精神薬	向精神薬製造製剤業者	2	0																						
	向精神薬卸売業者	1	0																						
	免許みなし販売業者	123	33																						
	免許みなし薬局	545	302																						
	病院・一般診療所	1,284	30																						
	飼育動物診療施設	136	2																						
	向精神薬研究施設設置者	18	0																						
合 計	2,109	367	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※合計については、各区分毎の数値を計上しております。

(2) 麻薬・覚せい剤取扱者数

麻薬・覚せい剤取扱者数の推移

(平成30年12月31日現在)

業種別		年	25	26	27	28	29	30	
麻薬取扱者	家庭麻薬製造業者		18	18	18	18	17	16	
	麻薬卸売業者		10	10	10	11	12	12	
	麻薬小売業者		343	419	436	451	467	483	
	麻薬管理者		143	147	156	156	160	160	
	麻薬施用者		2,573	2,681	2,750	2,791	2,935	3,056	
	麻薬研究者		60	59	60	63	64	68	
	計		3,147	3,334	3,430	3,490	3,655	3,795	
	麻薬診療施設	病院		74	72	73	74	73	75
		一般診療所		424	401	398	402	409	420
		歯科診療所		1	0	0	0	0	0
飼育動物診療施設			89	85	83	81	79	79	
計			588	558	554	557	561	574	
けし・大麻取扱者	けし耕作者		0	0	0	0	0	0	
	けし研究者		0	0	0	0	0	0	
	大麻研究者		4	3	4	4	4	4	
	大麻栽培者		0	0	0	0	0	0	
	計		4	3	4	4	4	4	
覚せい剤等取扱者	覚せい剤施用機関	国の指定	0	0	0	0	0	0	
		県の指定	0	0	0	0	0	0	
	覚せい剤研究者		5	4	5	5	5	5	
	覚せい剤原料取扱者		52	51	51	50	49	47	
	覚せい剤原料研究者		58	59	56	54	53	49	
	計		115	114	112	109	107	101	

(3) 家庭麻薬製造状況

県内の家庭麻薬製造業者は18社で、原料麻薬(ジヒドロコデインリン酸塩)の消費量及び製造品目数は下表のとおりである。

家庭麻薬製造業者の原料麻薬消費量及び製造品目数推移

年	製造業者数	総合感冒薬		鎮咳去痰薬		合計	
		数量(g)	品目数	数量(g)	品目数	数量(g)	品目数
23	18	265,200	23	34,820	16	300,020	39
24	19	350,920	34	38,410	23	389,330	57
25	18	542,730	37	28,620	24	571,350	61
26	18	501,380	36	31,830	23	533,210	59
27	18	729,820	37	28,930	22	758,750	59
28	18	798,580	41	48,500	20	847,080	61

(4) 麻薬卸売業者の麻薬譲渡状況

県内麻薬卸売業者（12業者）の麻薬診療施設への譲渡数量は、下表のとおりである。

麻薬卸売業者の麻薬譲渡数量

品名	単位	24	25	26	27	28	29	30
		24	25	26	27	28	29	30
あへんチンキ	ml	1,275	1,450	1,325	2,350	2,350	3,075	5,450
アヘンアルカロイド・アトピン注	A	350	300	280	350	350	260	190
弱アヘンアルカロイド・スコボラミン注射液	A	10						
モルヒネ塩酸塩水和物	g	85	85	65	75	75	100	110
モルヒネ塩酸塩錠	錠	22,020	23,280	21,760	21,200	21,200	10,080	10,480
パシーフカプセル 30mg	C	2,200	900	1,350	400	400	2,150	2,650
パシーフカプセル 60mg	C	950	1,000	50	250	250	200	750
パシーフカプセル 120mg	C						50	
モルヒネ塩酸塩注(10mg)	A	20,110	16,470	17,330	14,410	14,410	12,860	17,410
モルヒネ塩酸塩注(50mg)	A	1,875	3,300	1,490	2,375	2,375	1,180	1,710
モルヒネ塩酸塩注(200mg)	A	215	155	435	310	310	100	790
プレバノン50mg注シリンジ	本	925	550	765	1,570	1,570	635	315
プレバノン100mg注シリンジ	本	150	335	20	20	20		15
アンバック坐剤(10mg)	個	7,050	5,900	5,350	4,250	4,250	4,600	4,900
アンバック坐剤(20mg)	個	2,050	2,800	1,450	1,100	1,100	750	450
アンバック坐剤(30mg)	個	360	390	210	30	30	270	60
オプソ内服液 5mg	包	45,820	41,940	43,940	41,820	41,820	44,320	38,980
オプソ内服液10mg	包	17,540	23,520	15,260	18,220	18,220	12,920	18,080
MSコンチン錠(10mg)	錠	18,400	29,500	26,400	28,000	28,000	22,900	22,400
MSコンチン錠(30mg)	錠	5,400	9,100	12,600	7,800	7,800	4,300	3,000
MSコンチン錠(60mg)	錠	500	1,000	800	100	100	1,100	100
ビーガード錠20mg	錠	500	50	200				
ビーガード錠30mg	錠	750	250	250				
カディアンカプセル(20mg)	個			50				50
カディアンスティック粒30mg	包		50					
モルベス細粒2%(0.5g)	包	8,120	10,240	8,800	10,800	10,800	13,000	4,160
モルベス細粒6%(0.5g)	包	1,040	1,880	440	840	840	240	160
MSツワイロンカプセル10mg	C	640	240	1,800	1,520	1,520	800	160
MSツワイロンカプセル30mg	C	40			160	160		
MSツワイロンカプセル60mg	C	80						
コデインリン酸塩散10%	g	11,250	8,600	7,750	6,400	6,400	4,400	3,300
コデインリン酸塩錠	錠	18,000	18,750	18,550	18,350	18,350	17,100	10,900
ジヒドロコデインリン酸塩	g	535	310	35	60	60	305	1,855
ジヒドロコデインリン酸塩散10%	g				100	100		
複方オキシコドン注射液	A	450	320					
複方オキシコドン・アトピン注	A							
オキノーム散2.5mg(オキノーム散0.5%)	包	39,930	53,970	50,190	47,100	47,100	60,120	62,280
オキノーム散5mg(オキノーム散0.5%)	包	133,980	143,730	116,850	117,030	117,030	114,840	112,950
オキノーム散10mg(オキノーム散0.5%)	包	5,520	20,340	2,040				
オキノーム散10mg(オキノーム散1%)	包		2,490	24,270	23,040	23,040	28,860	26,010

品名	単位	24	25	26	27	28	29	30
		オキノーム散20mg (オキノーム散2%)	包			1,050	2,910	2,910
オキシコチン錠 5mg	錠	223,500	224,300	168,920	143,040	143,040	141,760	53,840
オキシコチン錠10mg	錠	17,800	18,400	32,780	37,220	37,220	31,340	10,480
オキシコチン錠20mg	錠	43,500	51,700	49,540	37,300	37,300	41,120	12,700
オキシコチン錠40mg	錠	16,500	20,100	8,620	11,380	11,380	3,100	1,260
オキシコンチンTR錠5mg	錠							98,020
オキシコンチンTR錠10mg	錠						100	26,840
オキシコンチンTR錠20mg	錠							21,180
オキシコンチンTR錠40mg	錠							4,560
オキシコドン徐放錠5mg	錠						3,520	13,900
オキシコドン徐放錠10mg	錠							4,240
オキシコドン徐放錠20mg	錠						720	2,360
オキシコドン錠2.5mg	錠						820	2,720
オキシコドン錠5mg	錠						20	
オキシコドン徐放カプセル5mg	C			36,600	55,480	55,480	67,820	63,140
オキシコドン徐放カプセル10mg	C				40	40	1,580	1,980
オキシコドン徐放カプセル20mg	C			7,800	8,320	8,320	11,740	14,640
オキシコドン徐放カプセル40mg	C			3,000	3,120	3,120	800	440
オキファスト注10mg	g	1,900	5,240	5,750	8,060	8,060	15,400	14,460
オキファスト注50mg	g	540	3,460	2,455	2,540	2,540	2,750	2,670
ナルサス錠2mg	錠						1,020	5,900
ナルサス錠6mg	錠						780	5,360
ナルラビド錠1mg	錠						1,260	11,140
ナルラビド錠2mg	錠						560	6,400
ナルベイン注2mg	A							1,770
ナルベイン注20mg	A							250
コカイン塩酸塩	g	15	10	10	15	15	10	35
パチジン塩酸塩注(35mg)	A	2,370	3,220	3,760	4,380	4,380	6,520	6,620
パチジン塩酸塩注(50mg)	A	6,350	6,980	6,770	7,930	7,930	7,220	6,700
ベチロルファン注	A	50	70	40	80	80	50	30
フェンタニル注0.1mg	A	88,460	83,210	83,050	80,620	80,620	74,470	80,490
フェンタニル注0.25mg	A	14,305	12,335	15,090	12,455	12,455	13,685	15,575
フェンタニル注0.5mg	A	16,045	16,620	17,495	19,800	19,800	24,380	26,830
デロテップMTパッチ2.1mg	枚	13,660	9,985	7,685	6,395	6,395	4,500	3,875
デロテップMTパッチ4.2mg	枚	13,550	10,930	7,855	6,565	6,565	5,155	3,645
デロテップMTパッチ8.4mg	枚	2,840	2,315	1,685	770	770	1,030	705
デロテップMTパッチ12.6mg	枚	820	1,185	870	805	805	590	495
デロテップMTパッチ16.8mg	枚	1,045	1,010	540	585	585	690	195
フェンタニル3日用テープ2.1mg「HMT」	枚	70	405	385	295	295	240	460
フェンタニル3日用テープ4.2mg「HMT」	枚	130	760	890	540	540	480	270
フェンタニル3日用テープ8.4mg	枚		120	115	20	20	20	80
フェンタニル3日用テープ12.6mg「HMT」	枚	30	85	420	235	235	255	30
フェンタニル3日用テープ16.8mg	枚		10	20	90	90		

品名	単位	24	25	26	27	28	29	30
フェントステープ0.5mg	枚							161
フェントステープ1mg	枚	12,264	20,993	18,571	24,962	24,962	31,402	31,073
フェントステープ2mg	枚	13,041	20,363	18,956	25,319	25,319	28,812	24,318
フェントステープ4mg	枚	1,736	4,403	4,046	4,389	4,389	4,165	5,649
フェントステープ6mg	枚	1,953	1,743	2,226	1,757	1,757	3,521	2,758
フェントステープ8mg	枚	210	973	1,515	1,911	1,911	1,673	2,485
ワンデュロパッチ0.84mg	枚	4,788	5,607	5,817	4,165	4,165	4,585	5,082
ワンデュロパッチ1.7mg	枚	5,642	5,446	5,530	3,773	3,773	3,108	1,897
ワンデュロパッチ3.4mg	枚	2,135	1,918	2,079	1,995	1,995	2,079	2,891
ワンデュロパッチ5mg	枚	1,407	931	1,029	28	28	28	161
ワンデュロパッチ6.7mg	枚	833	1,407	700	1,827	1,827	161	287
フェンタニル1日用テープ 0.84mg	枚						1,330	1,302
フェンタニル1日用テープ 1.7mg	枚						938	630
フェンタニル1日用テープ 3.4mg	枚						280	252
フェンタニル1日用テープ 6.7mg	枚						98	7
フェンタニルクエン酸塩1日用1mg	枚							42
フェンタニルクエン酸塩1日用2mg	枚							63
フェンタニルクエン酸塩1日用4mg	枚							21
イーフェンバッカル錠50μg	錠		80	880	2,100	2,100	1,780	560
イーフェンバッカル錠100μg	錠		20	220	40	40	160	280
イーフェンバッカル錠200μg	錠		40	60	400	400	1,560	580
アブストラル舌下錠100μg	錠		40	6,880	11,120	11,120	9,720	16,080
アブストラル舌下錠200μg	錠		40	1960	3000	3000	3760	4,080
アブストラル舌下錠400μg	錠			240	120	120	80	40
アルチバ静注用 2mg	A	23,570	26,905	28,440	28,715	28,715	21,665	15,085
アルチバ静注用 5mg	A	3,655	4,395	4,070	4,005	4,005	4,475	4,335
レミフェンタニル静注用2mg	A						12,360	19,925
メサペイン錠5mg	錠				600	600	720	2,520
メサペイン錠10mg	錠						40	520
タベンタ錠25mg	錠			200	6,120	6,120	10,760	10,840
タベンタ錠50mg	錠			40	120	120		80
タベンタ錠100mg	錠			80	4,600	4,600	4,920	4,600
ケタラール静注用50mg	V	540	965	845	1,115	1,115	1,070	1,595
ケタラール静注用200mg	V	996	932	612	526	526	469	712
ケタラール筋注用500mg	V	1,191	1,150	907	865	865	1,191	1,006
ケタミン注5%	A	5	19	12	21	21	21	11
ケタミン注10%	A	55	70	85	65	65	40	115

(5) 平成30年度 奈良県薬物乱用防止啓発活動実施状況

1. 不正大麻・けし撲滅運動（平成30年5月1日～平成30年6月30日）

- ポスター・パンフレット等の配布
不正大麻・けし撲滅運動の県民への周知のため、ポスター等の配布を行った。
→ 各市町村、医師会、歯科医師会、薬剤師会、各警察署等
- 不正大麻・けしパトロールの実施
→ 不正大麻・けしの発見、除去のために県内を巡回し、パトロールを行った。

◇不正けし栽培(自生)発見の推移

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
発見件数	1	8	5	6	3	2	9
発見本数	9	379	180	587	1119	68	773

◆平成30年度 発見(件数及び本数)の内訳 <市町村別>

発 見 場 所	奈良市	桜井市	香芝市	高大和田市	天理市	五條市	合 計
発 見 件 数	1	2	2	1	1	2	9
発 見 本 数 <株>	2	703	10	2	50	6	773

2. 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動（平成30年6月20日～平成30年7月19日）

- 街頭キャンペーンの実施
→ 6・26ヤング街頭キャンペーンとして、平成30年6月23日(土)に近鉄奈良駅行基前広場において実施した。
- ポスター・パンフレット等の配布
→ 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の県民への周知のために各種の地域団体に対してキャンペーン用のポスター等を配布した。
薬事関係団体、医師会、歯科医師会、薬剤師会、各警察署、各ライオンズクラブ等
- 広報誌等による啓発
→ 奈良テレビ放送等において6・26ヤング街頭キャンペーン(近鉄奈良駅前行基広場)の様子が放映・掲載される等、マスメディアを通じた啓発を行う事ができた。
- 国連支援募金
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動と併せて、薬物乱用防止活動を実施している世界のNGOに国連を通じて援助する目的のため、キャンペーン会場において街頭での募金活動を行うとともに、地域団体に対しても同様の募金の協力を求めた。

3. 麻薬・覚せい剤乱用防止運動（平成30年10月1日～平成30年11月30日）

- 街頭キャンペーンの実施
→薬物乱用防止街頭キャンペーンとして、平成30年11月17日(土)に、イオンモール橿原において実施した。
また、この際、薬物乱用防止に功績のあった方々へ表彰状の贈呈を行った。
- ポスター・パンフレット等の配布
→麻薬・覚せい剤乱用防止運動の県民への周知のために各種の地域団体に対してキャンペーン用のポスター等を配布した。
各市町村、薬事関係団体、医師会、歯科医師会、
薬剤師会、各ライオンズクラブ、民生児童委員連合会等

4. 薬物乱用防止指導員活動

- 奈良県薬物乱用防止指導員の委嘱状況
総数321名
 - ・民生児童委員：121名
 - ・学校薬剤師：77名
 - ・登録販売者：50名
 - ・保護司：46名
 - ・ライオンズクラブ：15名
 - ・少年補導員：12名
- ◆平成30年9月13日(木)上記指導員に対する研修会を実施。
 - 講師 奈良県警察本部刑事部組織犯罪対策課管理官 岡山 隆治 氏
 - 演題 「薬物事犯の現状について」
 - 講師 近畿厚生局麻薬取締部 捜査第一課長 中内 正人 氏
 - 演題 「大麻薬物の害悪について -薬物の害悪について-」
 - 講師 ワンネスグループ 一般社団法人GARDEN ディレクター 酢谷 映人 氏
 - 演題 「薬物依存とその回復について」
- 薬物乱用防止指導員を通じての啓発
 - ・市町村などにおいて実施されている各種の集会・研修会等でパンフレット、リーフレット及び啓発物品等を配布している。
 - ・薬物乱用防止啓発に関するキャンペーンなどに参加することで県民に対して薬物乱用防止の啓発を行っている。
 - ・薬物乱用防止指導員が小学校・中学校において薬物乱用防止教室を行って啓発活動を行っている。

5. 学校等啓発講演会

◇奈良県立大学（県警合同）	－薬物乱用防止教室－	（平成30年 4月 5日）
◇平群中央公民館	－薬物乱用防止教室－	（平成30年 7月 2日）
◇平群中学校	－薬物乱用防止教室－	（平成30年 8月18日）
◇二名地区自治連合会	－薬物乱用防止教室－	（平成30年 9月 8日）
◇西の京高等学校	－薬物乱用防止教室－	（平成30年 9月26日）
◇奈良学園大学 登美ヶ丘キャンパス	－薬物乱用防止教室－	（平成30年12月19日）
◇三和小学校	－薬物乱用防止教室－	（平成31年 1月 9日）
◇旭ヶ丘小学校	－薬物乱用防止教室－	（平成31年 2月 5日）
◇片桐中学校	－薬物乱用防止教室－	（平成31年 2月13日）
◇香芝市立下田小学校	－薬物乱用防止教室－	（平成31年 2月19日）
◇広陵町立広陵中学校	－薬物乱用防止教室－	（平成31年 3月 6日）
◇奈良歯科衛生士専門学校	－薬物乱用防止教室－	（平成31年 3月13日）

6. 薬物相談窓口の設置

県下5保健所(奈良市保健所含む)及び精神保健福祉センター、薬務課での相談窓口において薬物に関する相談を実施。

	来所相談	電話相談	相談(その他)	計
中和保健所	0	0	8	8
郡山保健所	2	7	0	9
吉野保健所	0	1	0	1
内吉野保健所	0	0	0	0
精神保健福祉センター	5	10	0	15
奈良市保健所	6	1	7	14
薬務課	0	3	0	3
合計	13	22	15	50

◇相談薬物の内訳(※重複含む)

- ・覚せい剤 : 33件
- ・麻薬 : 0件
- ・大麻 : 10件
- ・有機溶剤 : 1件
- ・危険ドラッグ等 : 6件

◆過去相談件数

- ・平成29年度 : 20件
- ・平成28年度 : 23件
- ・平成27年度 : 28件
- ・平成26年度 : 56件
- ・平成25年度 : 36件

9. 国有ワクチン（抗毒素）の供給

国有ワクチン（抗毒素）とは、患者発生予測ができないため需給の見込みが極めて困難であるものや、患者発生頻度は少ないものの国民の保健衛生上欠くことができないものとして、国が備蓄する医薬品のことをいいます。

国有ワクチン（抗毒素）については、緊急時に対応できるよう、厚生労働省が医薬品メーカーから買い上げ、全国9箇所（北海道、宮城、新潟、埼玉、大阪、山口、香川、熊本、沖縄）で備蓄されています。

これらの供給については、昭和26年8月6日付薬発第357号「国有ワクチン供給要領」に基づき、都道府県からの供給申請及び緊急時における医療機関からの供給要請に対して、速やかに供給できるよう対策が取られています。

国有ワクチン（抗毒素）の供給体制

